



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.947 2014 年 9 月 22 日

ARIBからのお知らせ

平成 26 年電波の日記念講演会の講演内容の Web 掲載について

本年 5 月 26 日に明治記念館で開催された情報通信月間「電波の日記念講演会」の講演内容は、これまで発表スライドのみ掲示していましたが、これにご発言を文字化して添付し、ARIB の Web サイトに掲載いたしましたので、お知らせいたします。

当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「平成 26 年 電波の日記念講演会」のアイコンから以下の講演内容をご覧ください。

講演 1 基調講演 電波利用の現状と今後の展望について

総務省 総合通信基盤局長 吉良 裕臣 氏

講演 2 モバイルイノベーションへの挑戦 ～スマートライフの実現に向けて～

株式会社NTTドコモ 代表取締役社長 加藤 薫 氏

講演 3 FM放送の現状と課題

株式会社エフエム東京 代表取締役社長 千代 勝美 氏

講演 4 暮らしの文化と電波需要の爆発的拡大

ソニー株式会社 業務執行役員 SVP
中長期技術、技術渉外担当 島田 啓一郎 氏

なお、過去（平成 23～25 年）の講演内容につきましては、ARIB 会員ページ内の「電波の日記念講演会」より、閲覧することができます。

第 125 回電波利用懇話会のお知らせ 「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針について」

ARIB ニュース No.946 で既にお知らせしましたが、今回の電波利用懇話会では、電波環境協議会「医療機関における携帯電話等の使用に関する作業部会」座長の加納 隆 埼玉医科大学教授をお招きして、今回公表した指針についてご講演いただきます。

残席が少なくなってきましたので、参加ご希望の方は早めにお申込みをお願いします。

記

- 1 日 時 : 2014 年 10 月 3 日 (金) 午後 2 時から 3 時まで
- 2 場 所 : 一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル 11 階
- 3 題 名 : 「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針等の公表について」
- 4 講 師 : 埼玉医科大学 大学院 医学研究科 医科学専攻
保健医療学部 医用生体工学科 教授 加納 隆 様
- 5 対 象 : ARIB 正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 60 名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費 : 無料
- 9 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 佐藤 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2014@arib.or.jp

ARIBの動き

コスタリカでの「地デジ (ISDB-T) フォーラム」の開催

9 月 10, 11 日、コスタリカの首都サンホセにおいて、総務省とコスタリカ科学技術通信省 (MICITT) が主催する標記セミナーが開催されました。日本側は総務省森情報通信国際戦略局次長をヘッドとする日本企業約 10 社、コスタリカからはコーペル MICITT 大臣、ルイス同省通信次官を始めとする関係者、放送事業者等が参加し、その他、ブラジル通信省、チリ運輸通信省からの招待参加も得て講演会並びに展示会が開催されました。



コーペル MICITT 大臣



総務省森情報通信国際戦略局次長

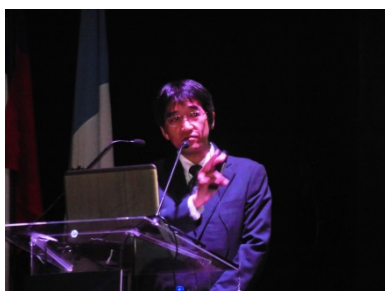
講演会では約 170 名の聴講者を得て、日本側から、NHK 春口技術局長による基調講演「日本の地上アナログ放送終了時に放送事業者はどのように対応したか」を皮切りに、総務省、(株)mmbi、当会から講演するとともに、コスタリカに派遣されている吉見 JICA 専門家が「コスタリカの今後の地デジ展開に必要な対応」と題してこれまで 2 年間の派遣活動を元にした講演を行いました。一方、コスタリカ側からは、MICITT、通信監督庁 (SUTEL)、国营放送局 (SINART)、コスタリカ大

学の代表者による「コスタリカにおける地デジの展望」と題したパネル討論等があり、会場からの活発な質疑応答とともに有意義な情報交換が行われました。

(*)コスタリカでは2010年5月にISDB-Tを採用後、地デジ免許等に関して政府内で論争が起こりその収束に時間がかかったものの、本年5月からSINARTが本放送を開始、その他民放3社がサンホセで試験放送を実施中。2017年12月末にアナログ放送を停波するとしている。



春口 NHK 技術局長



大矢(株)mmbi 取締役



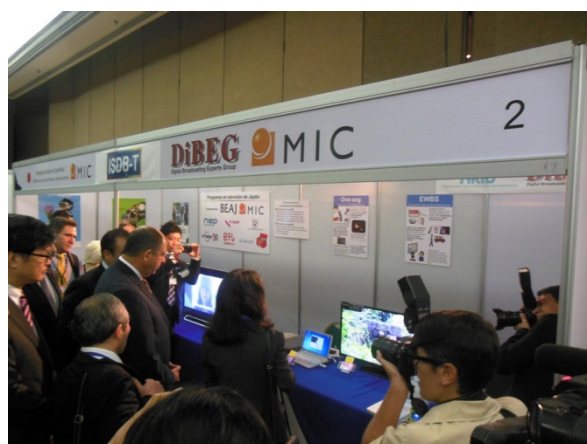
吉見 JICA 専門家

展示会では日本企業10社がブースを出展しました。当会においてはデジタル放送普及活動作業班(DiBEG)が総務省と共同で、EWBS (Emergency Warning Broadcast System) のデモ、防災ワンセグ及びUSBワンセグチューナーによる現地ワンセグ放送受信、ISDB-Tmm マルチメディアモバイル放送端末デモを実施しました。下の写真のように、コーペル MICITT 大臣の他、レセプションに参加いただいたソリス大統領にもご覧いただきました。

ソリス大統領は多忙中レセプションに参加され、スピーチをいただきました。コスタリカにおける地デジの位置づけ、その普及のための取り組みや日本との協力の重要性などについて言及されました。



コーペル大臣（白い服の女性）に説明する
近藤総務省放送技術課企画官



総務省/DiBEG ブースを訪れた
ソリス大統領（写真左側）



ソリス大統領（後列中央）と日本からの参加者との記念撮影
ソリス大統領の向かって左側は篠原日本大使

フォーラム 2 日目は、技術講習会という形で、吉見 JICA 専門家並びに日本から参加した企業が ISDB-T 関連技術を分担して講習を行うとともに、自社の製品紹介を行うセミナーが開催されました。コスタリカの放送事業者等約 100 名が終日に渡り熱心に聴講しました。

ARIB - DVB 定期会合を開催

ヨーロッパのデジタルテレビ放送の方式を定める標準化団体である DVB (Digital Video Broadcasting) と ARIB との定期会合が、IBC (International Broadcasting Convention) 2014 の開催時期に合わせて 2014 年 9 月 14 日にアムステルダムで開催されました。

ARIB 側からは五十嵐研究開発本部次長と NHK 技研 斉藤伝送システム研究部部長、武智ハイブリッド放送システム研究部上級研究員が、DVB からは DVB Steering Board の Phil Laven 氏 (Chairman, DVB Project)、DVB Project Office の Peter Siebert 氏 (Executive Director, DVB Project) が出席して、ARIB、DVB それぞれの最近の標準化動向について説明し、意見交換を行いました。

今週の ARIB 内会合（9 月 22 日～9 月 26 日）

- 9 月 24 日（水）：第 220 回技術委員会（放送分野）
- 9 月 24 日（水）：スタジオ映像作業班（映像システム検討作業班と合同）
- 9 月 25 日（木）：防災行政無線システム作業班（第 1 回）会合
- 9 月 26 日（金）：音声品質評価法作業班

今週の国際会合（9 月 22 日～9 月 26 日）

- 9 月 23 日（火）～26 日（金）：AWG-17（マカオ、中国）
- 9 月 25 日（木）：第 4 回フィリピン地上デジタル放送共同作業部会（ケソンシティ、フィリピン）

《 注目のICT技術者資格へチャレンジ 》
第19回 モバイルシステム技術検定

検定試験はモバイルシステム構築に必要なワイヤレスデータ通信、モバイル情報端末、アプリケーション、セキュリティ、コンテンツ、M2M など構成する要素技術の理解度を計ります。システムエンジニア、コンサルタント、営業SE などモバイルシステムで活躍を目指す方々には必須資格となります。

MCPC モバイルシステム検定は、既に 53,000 人以上の方が受験されています(2014 年 7 月末現在)。また、多くの企業からは「取得推進資格」として認定をいただき、業界標準資格として位置づけられております。

皆様の挑戦を期待しております。

【実施日時】 2014 年 11 月 8 日 (土) 9:50~11:30

【開催場所】 札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、福岡、さいたま、金沢、高松

【受検料】 一般 15,100 円 (税込)、協力団体 12,900 円 (税込)

※ARIB 会員各社は、協力団体料金となります。

【申込期間】 2014 年 9 月 1 日 (月) ~10 月 10 日 (金)

◆お申込みは Web から！

http://www.mcpc-jp.org/kentei/kentei_msg/index.html

モバイルソリューションを推進する MCPC 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-12 長谷川グリーンビル2階 http://www.mcpc-jp.org/	検定・講習会のお問合せは MCPC検定事務局 TEL.03-5401-1735 FAX.03-5401-1937 e-mail:msec@mcpc-jp.org
--	---

編集後記

このニュース発行の翌日、9月23日は秋分の日でお休みの方も多いかと思います。そういえば2012年は22日が秋分の日だったことを思い出して、少し調べてみました。秋分の日は長らく9月23日のままで、23日でなくなるのは1979年9月24日以来33年ぶり、22日になるのは1896年(明治29年)以来116年ぶりの出来事だそうです。秋分の日が変わるのは地球の公転、/自転等と閏年との関係によるもので、これまでは22日になるのは長い間ありませんでしたが、これからしばらくは4年に一度22日が秋分の日になるそうです。次は2016年その次は2020年と計算されています。祝日かどうかは正式には前年の官報を待たないとわかりませんが。

ちなみに、来年2015年は9月22日は秋分の日ではありませんが、21日が敬老の日、23日が秋分の日で祝日に挟まれているので、休日となるそうです。個人的には休めるのはうれしいですが、9月に実働日が減るのはなかなか辛いところです。(K.I.)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp